

令和2年1月8日



第140号



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



新春のお慶びを申し上げます

校長 松野 泰一

新しい年が始まりました。年末年始、みなさまはいかがお過ごしだったでしょうか。私は暮れから年明けにかけて、大掃除をしてお正月の飾り付けをしたり、おせち料理の仕込みをして、家族で年越し蕎麦やお雑煮やおせち料理を食べたり、年賀状をやり取りしたり、お客様がいらっしゃったりという毎年の年中行事を終えました。小さいころから、お正月を迎えるに当たって家族がしてきたことを見て、その一つ一つに伝統的な意味があることを学んで受け継いできました。これらの昔からの風習は、不易なものとしてこれからも大切にしたいものです。

さて、今年は子年。十二支の始まりの年です。天沼小が開校した平成20年が子年でした。干支がちょうどひと巡りしたことになります。私が「ねずみ」から思い浮かべるのは、「ぐりとぐら」(中川李枝子 文・大村百合子 絵)です。振り返ってみると、その時々私に私の人格形成に大きな影響を与えてくれた本は何冊かありますが、おそらくその最初の1冊だったと思われるのが、野ねずみのぐりとぐらが登場するこの絵本です。ちょうど私の幼児期に出版され、もう50年以上も読み継がれている名作ですので、誰もが知っているお話だと思えます。

幼稚園に通っている頃、「ぐりとぐら」を読んだ私は、自分も絵本に出てくるカステラを作りたいと母親に訴えました。さすがに大きな卵こそありませんでしたが、母親は絵本のとおりに材料と道具を用意し、カステラと一緒に作らせてくれました。この時に私は、お菓子を作ることの楽しさを初めて味わったのです。



「**ぐ**りとぐら」の最後の場面には、できあがったカステラをたくさんの動物たちが嬉しそうに食べている様子が描かれています。その中には、オオカミもワニもウサギもカニもいます。美味しい食べ物があればみんなが仲良く笑顔になって楽しい時を過ごせるということを、自然と感じ取ったのでしょうか。幼い私は、この場面が大好きでした。

こ存じのかたもいらっしゃると思いますが、私の一番の楽しみはお菓子や料理をすることです。そして、それを食べた方が笑顔になることが、自分の喜びとして感じられるのです。そういう考え方のきっかけとなったのは、野ねずみのぐりとぐらとの出会いということになるのかもしれませんが、子年のはじめに、ぐりとぐらに感謝したいと思います。

令和2年はどのような年になるのでしょうか。2020 東京オリンピック・パラリンピックも迫ってきました。天沼小学校の子どもたちが良い1年を過ごせるように、教職員一同力を合わせてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

*** 今月の目標 ***

生活

礼儀正しく過ごしましょう

保健

寒さに負けず、
元気に過ごしましょう

給食

食事のマナーをきちんと
身に付けましょう



1月の行事予定



学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまめワンダラーズ)の活動をご紹介します

つなぐあまめまの星

義父は生前、神輿のなかった熊野神社に仲間と手作りした神輿を奉納したり、消防団の一員として奔走したり、機会あるごとに天沼のために汗を流しました。そして晴れの日も雨の日も、暑い日も寒い日も、天沼で豆腐を売り歩いていました。そこには義父の地元愛があったのだと思います。

1期生の長女が低学年の頃、私はPTAの広報委員として、阪神・淡路大震災当時の長田小学校PTA会長に防災についてインタビューする機会がありました。その際、「知らないことを命がけで守れますか? 知らない大人に安心して子供を任せられますか?」と問われたことに、はっとさせられました。これが地域のネットワークの大切さを考えるきっかけとなり、あまめまおやじの会の立ち上げに加わりました。

義父の影響で、地域の神輿同好会である稲妻会にも所属しました。そして、おやじの会から始まって支援本部、震災救援所と、天沼との関わりが深くなるにつれ、より天沼への愛着が増してきました。今は義父の思いもわかってきたように思います。

この度、天沼小学校同窓会が発足しました。まだ器ができたばかりで形も整っていませんが、この会が天沼小学校の卒業生を、天沼に住む方々を「つなぐ」、ひとつのプラットフォームになるものと期待しています。皆様の期待に応える会となれるよう、ご支援、ご協力をお願いいたします。(同窓会PJ:林 隆史)

日	曜	行事予定
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式 給食始 書き初め① 百人一首模範 135こ(昼) 委員会⑨ 給食費引落
9	木	2年木曜6時間授業始 書き初め② 計測2
10	金	読書56⑦ 書き初め③ 計測1 安全指導
11	土	土曜授業 AKAの日 百人一首大会6
12	日	
13	月	成人の日
14	火	健康朝会 書き初め④ 計測3 おはなし会5
15	水	特時 計測4
16	木	集会⑦ 校内書初め展始 計測5こ SC 来校日
17	金	体力 計測6 特支連合展覧会始(～21日)
18	土	校内書初め展(9:00～12:00/13:00～16:00) ハピさた⑦
19	日	校内書初め展(9:00～12:00/13:00～16:00)
20	月	全校朝会 校内書初め展終 SC 来校日
21	火	体力 HSフォ
22	水	読書12⑦ 火曜5時間
23	木	校内百人一首大会
24	金	午前授業 (4年1組のみ5時間授業)
25	土	リ-ハ`スケッゴ`ル点検 / 使用不可 9:00～12:00
26	日	
27	月	全校朝会(図書) 読書週間始 HJ SC 来校日
28	火	社会科見学(7&i)5 HSフォ
29	水	読書34こ⑦ たてわり班⑧昼 クラブ活動⑨
30	木	
31	金	防災館見学4 おはなし会2 小学校連合作品展始

学校運営協議会コーナー

～学校評価アンケート～

学校運営協議会では、毎年1月に児童・保護者・教職員・地域を対象とした「学校評価」のアンケート調査を行っています。これは、学校運営方針に基づく天沼小学校の様々な取組について皆様からのご意見をいただき、その結果を受けて一年間を振り返るとともに、次年度の学校運営に活かしていくというものです。今年度からはWebでの回答が可能になりました。従来通り、用紙での回答も受け付けており、Webも用紙も締め切りは1月9日(木)になっておりますので、よろしくお願いいたします。最後になりましたが、年末年始のお忙しい中、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



1月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

幼・保・小連携教育について

入学前の子どもたちは、新しく始まる小学校生活への期待と環境の変化への緊張を抱えています。遊びを通して学ぶ幼児教育から教科等の学習を中心に学ぶ小学校教育へ円滑に接続するために、これまで以上に、就学前教育施設と小学校のかかわり・協働を深めていくことが求められます。

そこで、幼児教育と小学校教育の段差をうまく乗り越え、子供の育ちと学びをつなぐために、スタートカリキュラムを作成するとともに、園児と児童の交流活動や保育者と小学校教員の連携等を進めていきます。



学校体験

天沼小学校では、近隣の7つの保育園と連携し、児童と園児が関わる活動を3年生が行っています。6月は、3年生が手をつないで、学校案内を行いました。園児に分かる言葉で校内を案内し、歩く速さも園児に合わせました。最初はぎこちなく園児と接していた子供たちも、慣れてくるにしたがって自然に関わるようになりました。

図書館

10月は、3年生が1人1冊絵本を選び、園児に読み聞かせをする活動を行いました。絵本の持ち方や読み方、間の取り方などを学校司書から教わり、練習をして本番に臨みました。

絵本の読み聞かせの後は、園児に感想を聞いたり、天沼小学校の図書室を案内したりしました。「本の読み聞かせ」が上手になりました。



交流会

2月は、国語の学習に関連して、天沼小学校の行事の紹介を行う予定です。来年度入学してくる園児に天沼小学校の魅力が伝わるように準備をしています。子供たちは話題を決め、どのような説明をするかを話し合います。園児にも分かりやすく、天沼小学校に入学するのが楽しみになるように準備をしていきます。

幼・保・小連携教育を通じて、3年生は、園児への思いやりと優しさを発揮し、相手に合わせて行動する気づかいの大切さを学びます。また、園児にとっては、「学校は楽しいところで、親切な上級生がいる。」ということを実感し、入学への期待をもつことができるようになります。

ていがくねん

天沼小学校では、牛乳パックを再利用した紙すきによるはがき作りを行っています。1年生は初めて取り組む体験活動のため、2年生がサポート役として手伝いに来てくれます。2年生は、作業の順番を一緒に確認しながら、1年生に優しく声を掛けたり、側で見守ったりしてくれます。1年生は、2年生の話を集中して聞き、一つ一つの行程を丁寧に行っていきます。はがき作りを終えた1年生は、「2年生が教えてくれたから上手にできた。」と満足そうな表情を浮かべ、出来上がりを楽しみにしています。紙すき体験を通して教わったことを次につないでいくとともに、異学年との交流をより一層深めていきます。



4ねん



4年生では、2学期にユニバーサルデザインについて学習しました。目が不自由な方のお話を聞いたり、点字を教えたいたりしました。

そして、「だれもが関わり合うために」をテーマとして一人一人が興味をもっていることを調べ、発表し合いました。

リクシルの出前授業では、町の中のユニバーサルデザインについて考えたり、話し合ったりする活動を通し、理解を深めました。「ユニバーサルデザインは、特別な人のための工夫ではなく、年齢、性別、国籍などを問わず、誰もが安全、簡単に使えるものである」ことが心に刻まれました。

5ねん

5年生のAKP（天沼会社経営プロジェクト）の商品開発もいよいよ大詰めになってきました。2学期中に商品の製造方法を決定し、3学期から製造できるように準備を進めています。今年の商品は「芳香剤」です。どんな香りにするのか悩んでいましたが、トロピカルフルーツの香りとラベンダーの香りの2種類を作ることになりました。「商品開発部」、「販売部」、「宣伝部」、「経理部」、「製造部」などの部署があり、それぞれがチームとなって働いています。一般販売もしますので、商品の完成をお楽しみに・・・！



6年の社会科見学では、「裁判傍聴」を実施しています。裁判を目で見て、耳で聞いて、心で感じる。「人生がかかっている場」では、張り詰めた空気の中、裁判が進んでいきます。その張り詰めた雰囲気を感じ取り、緊張感をもって傍聴してきました。事前に弁護士の方にご来校いただき、裁判についての学習をしていたことも今回の傍聴への興味を高めることにつながっています。天沼小では、必ず経験することですが、これは当たり前ではありません。AWさん、保護者の方々、講師の先生方のご協力で、天沼の「本物」を学ぶ貴重な機会が支えられています。



6ねん

こだま



こだま学級では、キャリア教育の実践として、今年度より「弁天池公園ひまわり咲かせ隊」という活動を行いました。弁天池公園の花壇で、荻の会という地域の方々に教えてもらいながら、ひまわりを育てる活動です。種を植える作業から、毎週の水やり、そして種取り作業まで、地域の皆さんに教えていただきながら、一生懸命育てました。9月には、自分の背の高さより大きくなったひまわりを見て、びっくり!!来年も育ててみたい!と思うほど、子供たちが地域の皆さんと一緒に楽しんで取り組んでいる活動です。